

# MIRAINIグループ

## 個人投資家向け会社説明会

～2026年4月誕生の半導体×ソリューションの技術系商社～

MIRAINIホールディングス株式会社

(東証プライム・名証プレミア 証券コード：546A)

2026.06.21



01

# MIRAINIグループとは

MIRAINI

商号	MIRAINIホールディングス株式会社
本社所在地	名古屋本社 : 愛知県名古屋市東区東桜二丁目2番1号 東京本社 : 東京都港区芝一丁目14番10号
設立	2026年 4月 1日
代表者	代表取締役社長執行役員 木村 守孝
グループ会社	国内9社、海外21社 (2026年6月21日時点)
グループ従業員数	1,655名 (2026年4月1日時点)
上場市場	東証プライム・名証プレミア
証券コード	546A
単元株数	100株
決算期	3月



代表取締役社長執行役員  
木村 守孝

## 顧客ニーズの変化



- ☑次世代モビリティ、生成AI、DXの進展
- ☑製造業のスマート化進展
- ☑AI・データセンター・車載領域の成長
- ☑需要の二極化・変動性拡大

## 役割・競争環境の変化



- ☑商社に求められる役割の多様化
- ☑競争軸の変化
- ☑業界再編加速・商流再編リスク
- ☑直販・EC・グローバルディストリビューターとの競争

## 求められる役割

- ・ 技術ニーズの高度化・複雑化への対応
- ・ 部品提供から開発初期の技術提案へ
- ・ 安定調達、需要予測、在庫最適化

- ・ トレード型からソリューション型への転換
- ・ 技術提案、グローバル対応の競争力強化
- ・ 専門性、対応可能範囲の拡張



佐鳥グループ

強み

グローバル×顧客基盤



萩原電気グループ

強み

モビリティ×技術力



変化する市場環境に対応し、両社の強みの統合により競争優位性を確立する  
高付加価値の提案を通じて収益力を高め、持続的成長と企業価値向上を実現する

半導体はありとあらゆる製品や現場で使用され、暮らしを支えている



半導体メーカーと自動車や家電などの製造現場をつなぐ「半導体商社」 = MIRAINI

### 強み①

自社の技術を活かしたトータル提案力  
(企画検証～半導体や電子部品提案・技術支援)

### 強み③

生産を支える安定供給体制  
(品質対応を含むサプライチェーン全体)

企画



設計



開発



評価・検証



製造



品質対応



### 強み②

設計から検査までの一貫したソリューションを提供  
(ソフト開発～検査までカバー)

お客様の開発初期段階の技術提案から、  
生産時の商品供給～生産終了後の部品保有まで、あらゆる場面でサポート

	2025年度実績 ※単純合算値	2026年度計画	2030年度目標
売上高	4,319億円※ 萩原電気 … 2,719億円 佐鳥電機 … 1,600億円	5,000億円 前期比 116%	6,000 ~7,000億円
営業利益 (営業利益率)	98億円※ (2.3%) 萩原電気 … 62億円 佐鳥電機 … 36億円	120億円 (2.4%) 前期比 122%	210億円以上

※2025年度実績について

萩原電気 … 連結実績 (2026年5月15日開示)

佐鳥電機 … 第2四半期時点の、連結通期見通し (2026年1月14日開示)



1947

佐鳥電機株式会社を設立

日本電気株式会社、住友電気工業株式会社の  
販売特約店として活動

1973

他社に先駆け、佐鳥グループ初となる  
海外現地法人を台湾で設立

1994

株式公開(店頭登録)

2003

東証一部へ上場

2017

イノテック株式会社のハードディスクドライブ  
事業を譲受け

2022

東証プライムへ移行

インド現地法人SM Electronic  
Technologies Pvt. Ltd.に出資、  
翌2023年に子会社化

2024

オランダのMAGnetIC Holding B.V.を子会社化し、  
半導体回路設計ビジネスに参入

1947

1980

2000

2020

2026



1948

萩原電気工業社を創業

1956

日本電気株式会社と電子機器に関する  
販売特約店契約を締結

1960~

トヨタ自動車工業株式会社、  
日本電装株式会社と取引開始。  
自動車産業へ進出

1995

株式公開(店頭登録)

1996

萩原電気グループ初となる海外現地法人を  
シンガポールで設立

2014

東証一部および名証一部へ上場

2019

インド現地法人を設立

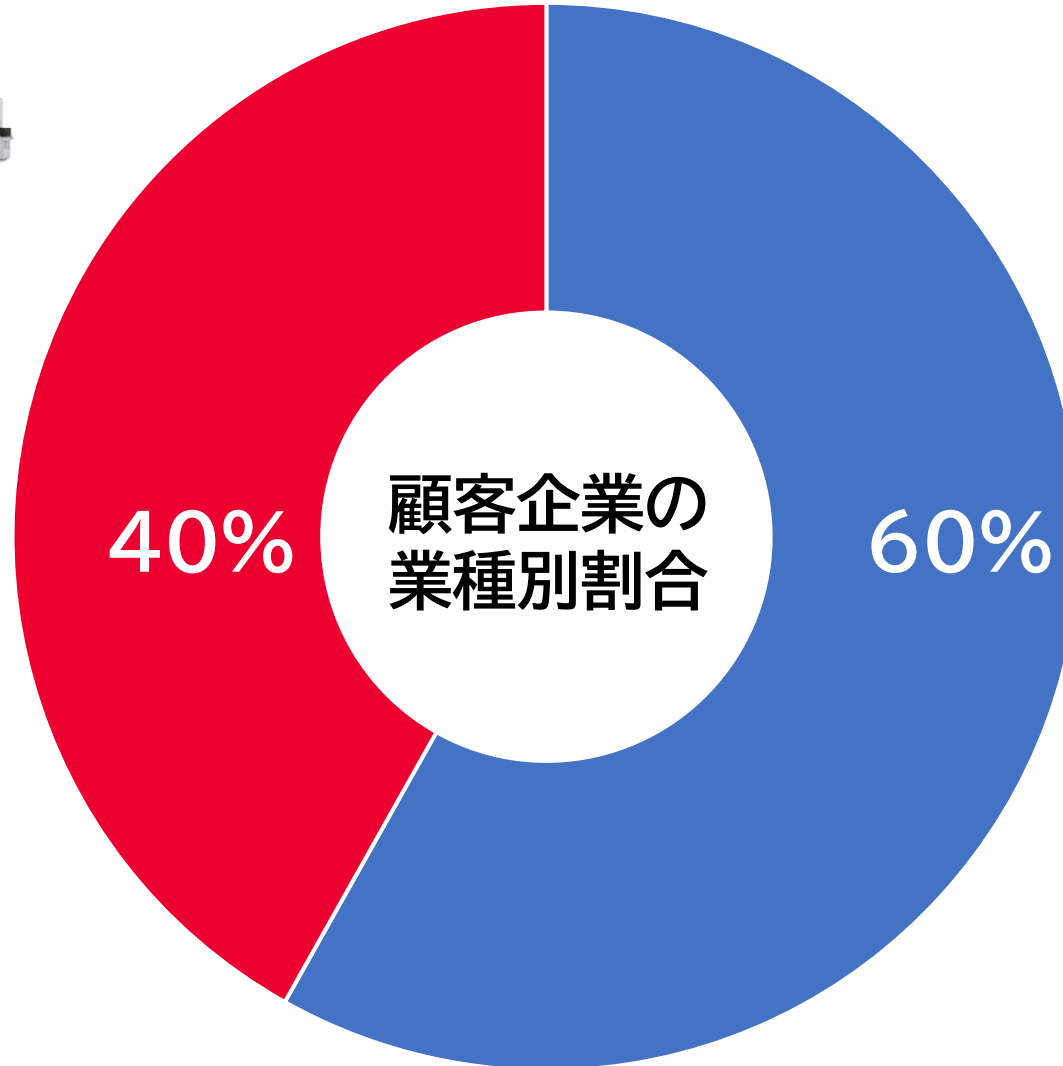
2022

東証プライムおよび名証プレミアへ移行

大崎エンジニアリング株式会社を子会社化し、エンジニア  
リング機能を強化

2024

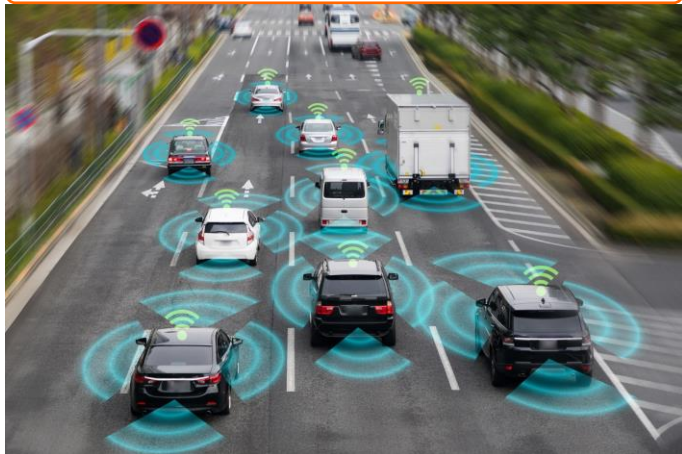
シンガポールのBELLADATI PTE.LTD.を  
子会社化し、データプラットフォーム事業を  
強化



■ モビリティ  
■ 産業その他



自動運転・安全装置



EV・電力コントロール



操作体験／使いやすさ



通信・つながるクルマ



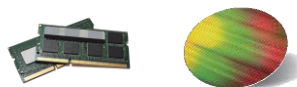
主力製品は、モビリティの進化を支える半導体車の機能の高度化とともに、今後も需要が拡大する

複写機／デジカメ

操作部ユニット



半導体  
(DRAM/フラッシュ)



再生可能エネルギー

蓄電池



パワコン



ノートPCなど

ストレージ製品  
(HDD/SSD)



キャパシタ



産業用機器

半導体  
(マイコン/パワーデバイス など)





**MIRAINIホールディングスは新会社だが、  
佐鳥電機と萩原電気HDは80年の歴史がある**

02

# MIRAINIの成長／収益ドライバーとは





## 成長性

## インド等を中心としたグローバル展開加速

- ・ 成長著しいインド等のグローバル市場への展開を加速
- ・ 内部資源を活用した力強い売上成長を牽引

## 収益性

## 高付加価値ソリューションの拡大強化

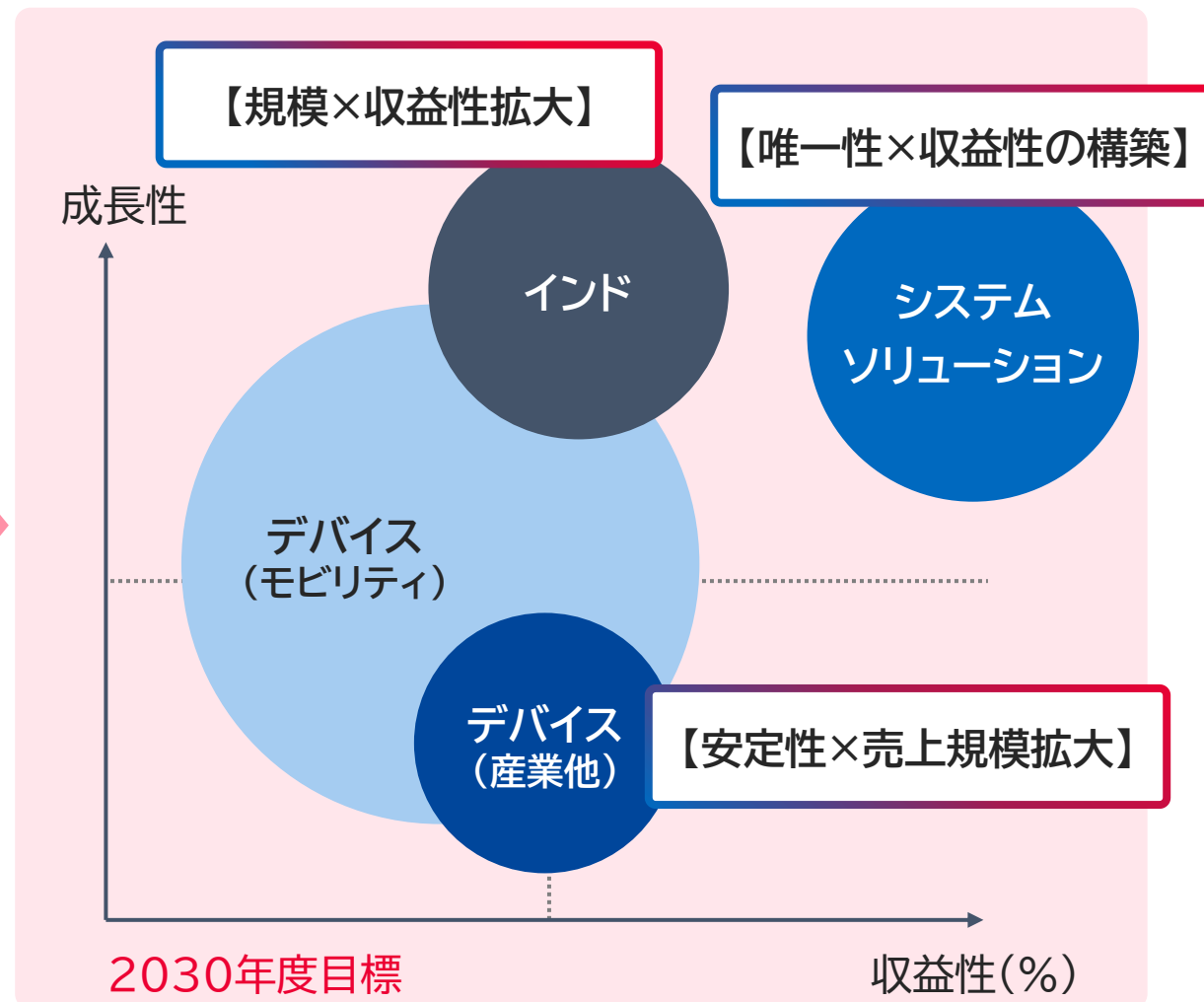
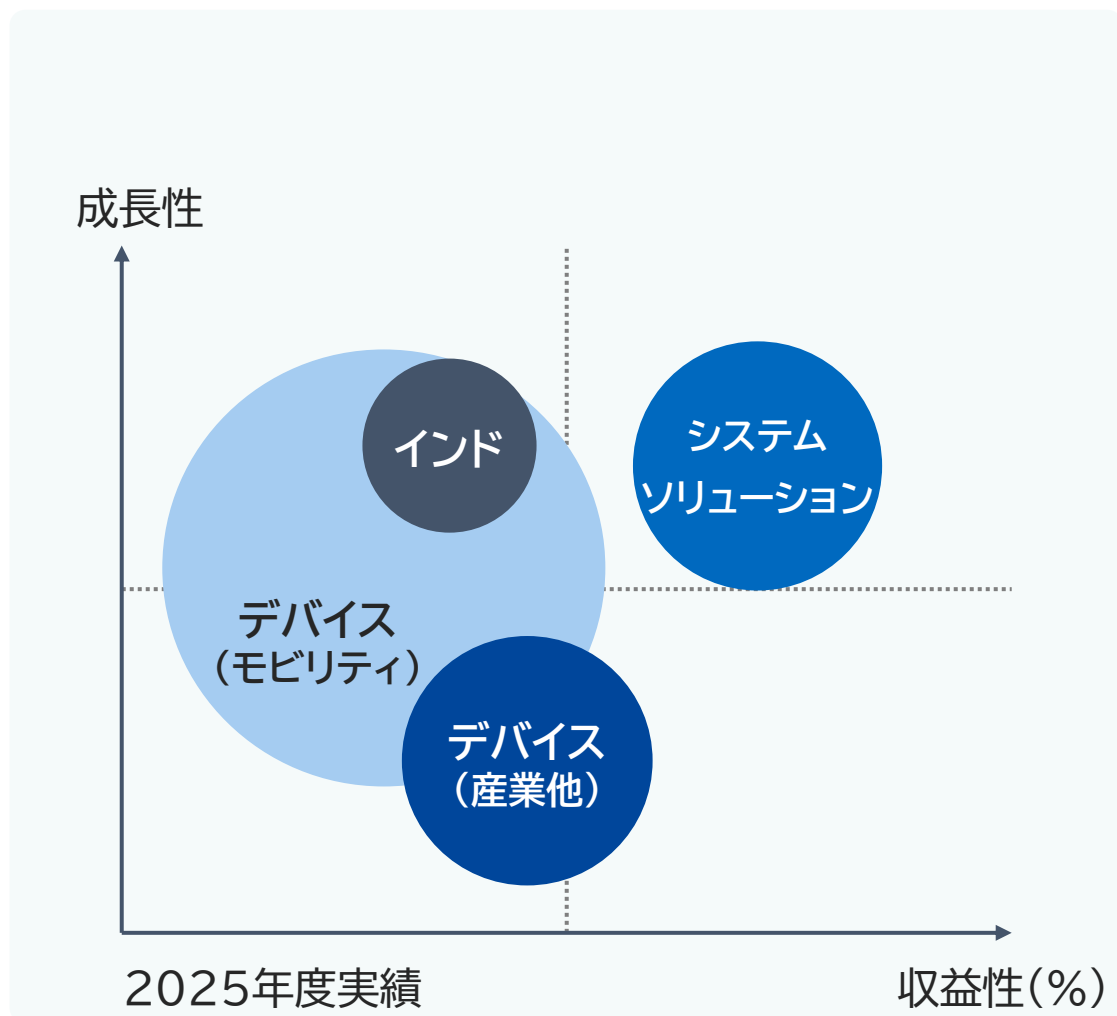
- ・ “技術系商社”の提案力を強化
- ・ デバイスからデータ活用まで、幅広いプロセスのソリューション
- ・ 顧客の課題解決によりグループの収益性を牽引

## 安定性

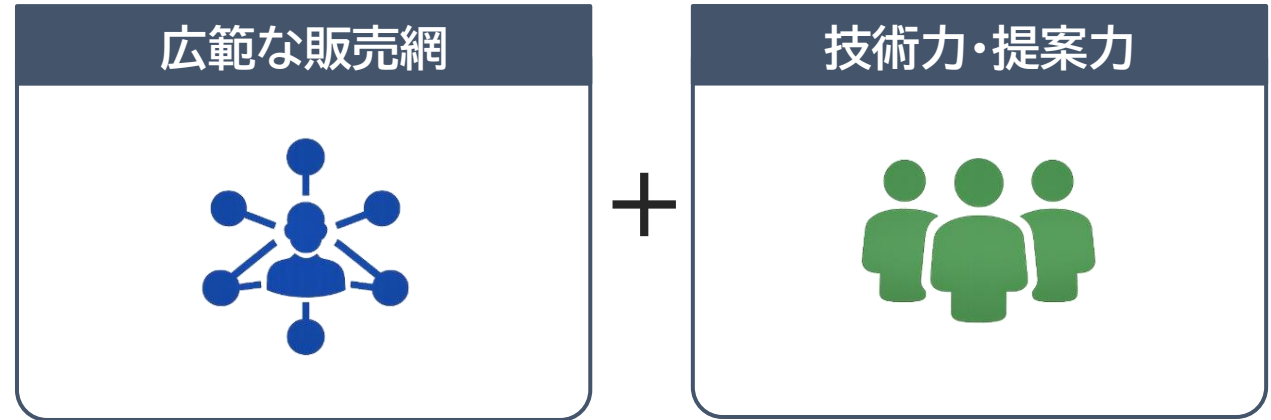
## トヨタ圏顧客を中心とした強固な基盤

- ・ モビリティ領域やファクトリーオートメーション領域での深い理解・実績
- ・ グループ全体を支える揺るがない安定的な収益基盤へ

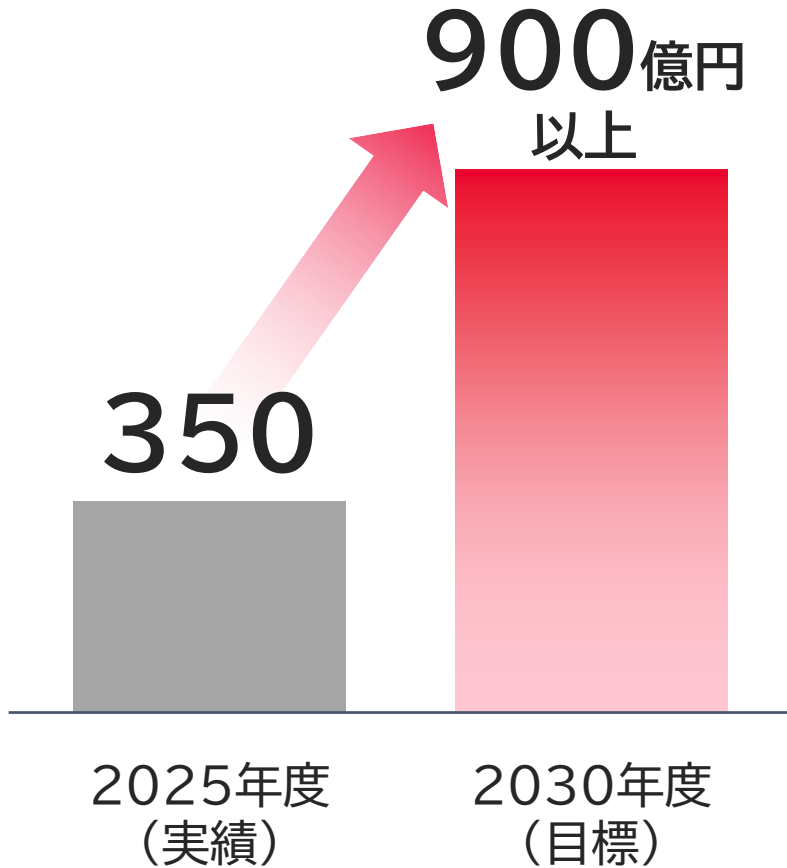
モビリティの安定基盤を軸に、インドで売上規模を、ソリューションで収益性を伸ばす



人口・産業の拡大により半導体需要が伸びるインド市場で、当社は既に拠点・人材・顧客基盤を確立



2030年度  
売上高目標(億円)



### スマートメーターソリューション



- 電力会社により継続的に普及

搭載部品シェア

50%

### EV二輪車ソリューション



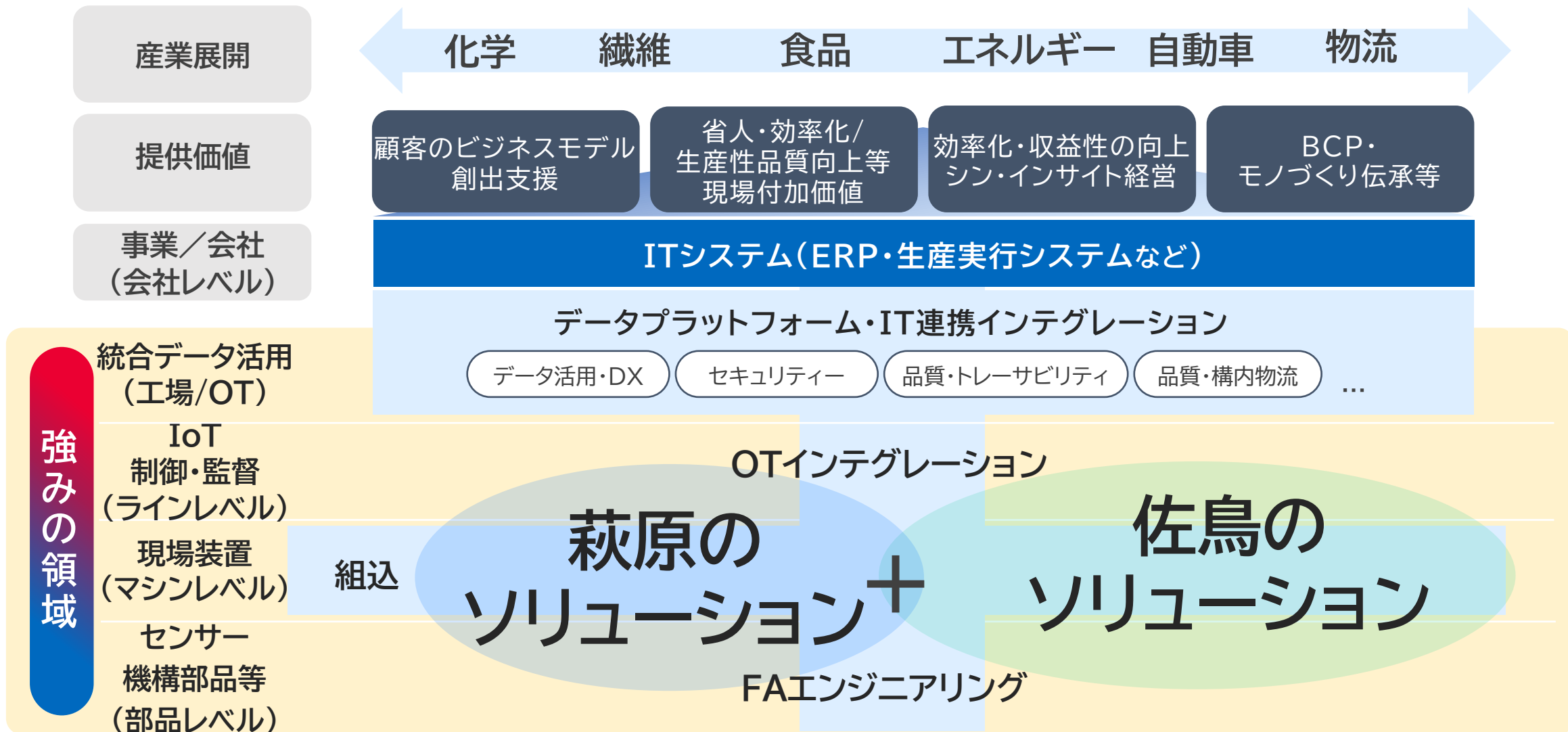
- インド初独自のEVチャージャー
- EV ディスプレイクラスター

### 列車向けソリューション

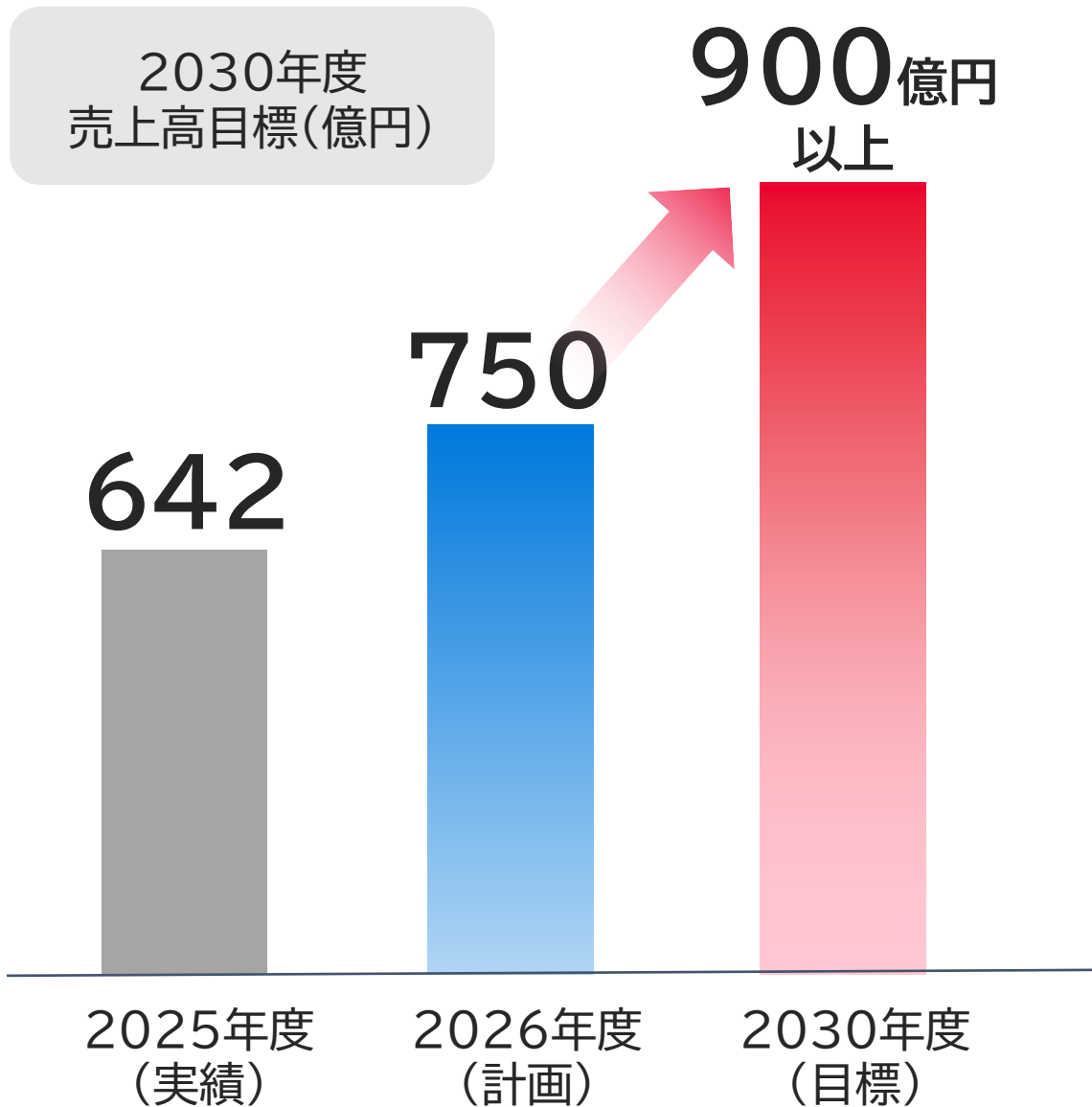


- 列車内エンタテインメント
- セキュリティ(監視カメラ)

部品から工場、経営までをデータでつなぎ、モノづくり全体の最適化を実現



商材とエンジニアリングを融合し、スマート工場を支える高付加価値パートナーへ進化



組込IT

商材×エンジニアリングのトータルソリューションで国内最高レベルの高付加価値提供型エンジニアリング商社へ

ファクトリーオートメーション エンジニアリング

エンジニアリング力の強化で「スマート工場SIer」の実現

データ利活用

グループで保有するデータプラットフォームを活用し、質の高い情報を提供。早期の意思決定支援に貢献

モノづくり

両社が持つデジタル技術とアナログ技術を組み合わせる事で、高付加価値ソリューションの提案を実現

設備の状態を“見える化”し、止まらない工場へ。現場の安定稼働と生産性向上に貢献

絶縁監視装置



佐鳥電機「Leakele」

サーバ



サーバ/ネットワーク/セキュリティ

データ分析



萩原電気グループ「BellaDati」



年次点検の削減



電気トラブルの防止

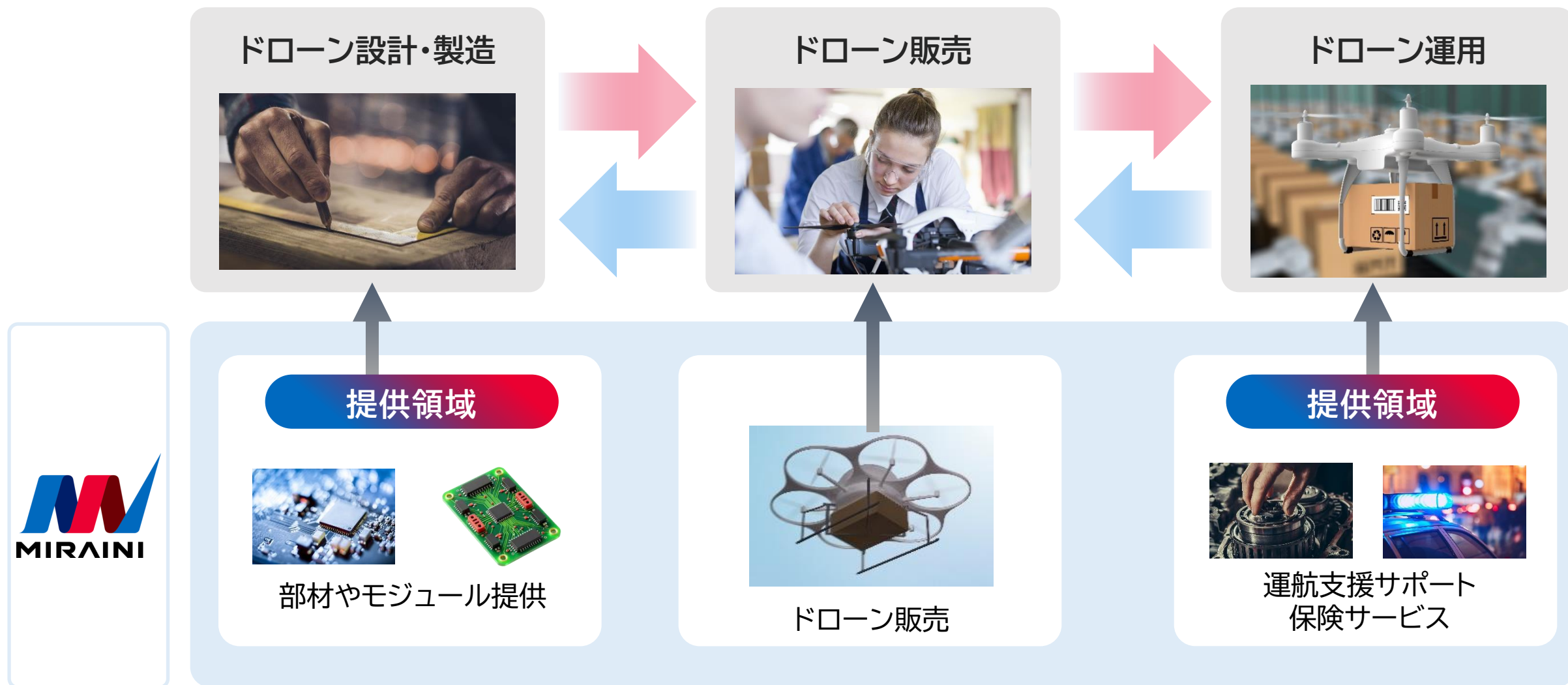


故障予兆の可視化



電気の自律保全

設計から運用まで一体で提供し、人手不足や輸送効率等の物流課題の抜本的な解決を目指す



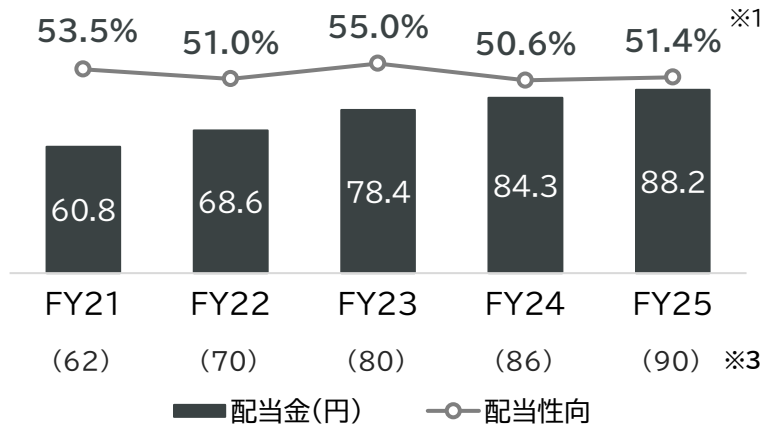
- 1 MIRAINIホールディングスは新会社だが、  
佐鳥電機と萩原電気HDは80年の歴史がある
- 2 **インド事業で売上規模を拡大、  
ソリューション型事業で利益を伸ばす**

03

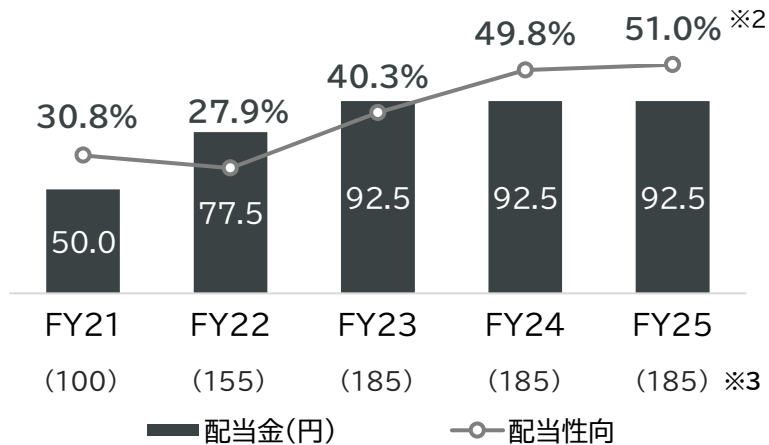
# 株主還元



佐島電機



萩原電気



※1 第2四半期時点の、連結通期見通し（2026年1月14日開示）  
 ※2 のれんの減損損失（2026年4月24日開示）を除いた数値にて算出  
 ※3 ()内は、株式移転比率考慮前の実際の1株当たり配当金

## MIRAINIグループ配当方針

- 両社の実績を踏まえた安定的かつ継続的な配当
- 配当性向は40%～50%を目途とする
- 成長投資、財務健全性、株主還元のバランスを重視

### 2026年度(2027年3月期)配当予想

**93円**  
 (中間45円、期末48円)

- 1 MIRAINIホールディングスは新会社だが、佐鳥電機と萩原電気HDは80年の歴史がある
- 2 インド事業で売上規模を拡大、ソリューション型事業で利益を伸ばす
- 3 **両社の実績を踏まえた安定的かつ継続的な配当**

- 1** MIRAINIホールディングスは新会社だが、  
佐鳥電機と萩原電気HDは80年の歴史がある
- 2** インド事業で売上規模を拡大、  
ソリューション型事業で利益を伸ばす
- 3** 両社の実績を踏まえた安定的かつ継続的な配当



**未来に** : 未来志向で、ひとつひとつの挑戦を積み重ねていく

**INI** : INITIATIVE … 自発力、主導権、新たな取り組み、第一歩  
新たな価値を、自ら動き、生み出す

**I (私)** : 私たち1人1人の行動が、組織の原動力となる会社でありたい

# Appendix



MIRAINIホールディングス株式会社

佐鳥グループ

国内拠点

佐鳥電機株式会社  
株式会社スター・エレクトロニクス  
佐鳥SPテクノロジー株式会社

海外拠点

TAIWAN SATORI CO.,LTD.  
HONG KONG SATORI CO., LTD.  
SHANGHAI SATORI CO., LTD.  
KOREA SATORI CO., LTD.  
THAI SATORI CO., LTD.  
SM ELECTRONIC TECHNOLOGIES PVT. LTD.  
SMET SINGAPORE PTE. LTD.  
SATORI E-TECHNOLOGY (AMERICA) INC.  
SATORI ELECTRIC (GERMANY) GmbH  
MAGnetIC HOLDING B.V.

萩原電気グループ

国内拠点

萩原電気ホールディングス株式会社  
萩原エレクトロニクス株式会社  
萩原テクノソリューションズ株式会社  
萩原エンジニアリング株式会社  
萩原北都テクノ株式会社  
Belladati合同会社

海外拠点

Hagiwara America, Inc.  
Hagiwara Electric Europe GmbH  
萩原電気香港有限公司  
萩原貿易(上海)有限公司  
萩原電気韓国株式会社  
Singapore Hagiwara Pte. Ltd.  
Hagiwara Electric (Thailand) Co., Ltd.  
Hagiwara Electronics India Private Limited  
BELLADATI PTE.LTD.  
BELLADATI s.r.o.  
萩原電子設備(上海)有限公司

経営理念

創造と挑戦で、より良い社会と幸福の実現に貢献します。

GROUP VISION

新たな価値づくりに挑戦する  
グローバルソリューションパートナー

VALUES

- まっすぐ誠実に ..... すべての人に誠意と敬意をもって接し、深い信頼を築く。
- お客様の想像の先へ ..... お客様のニーズを捉え、ともに歩み、つねに期待を超える。
- 今までにないアイデアで ..... 可能性に限界を設けず、新しい発想で挑戦を続ける。
- ワクワクを原動力に ..... 自らの好奇心を大切に、仕事を自分ごと化して楽しむ。
- 全員で全力で、未来に ..... 強い「個」一人ひとりが一丸となり、スピーディーに突き進む。

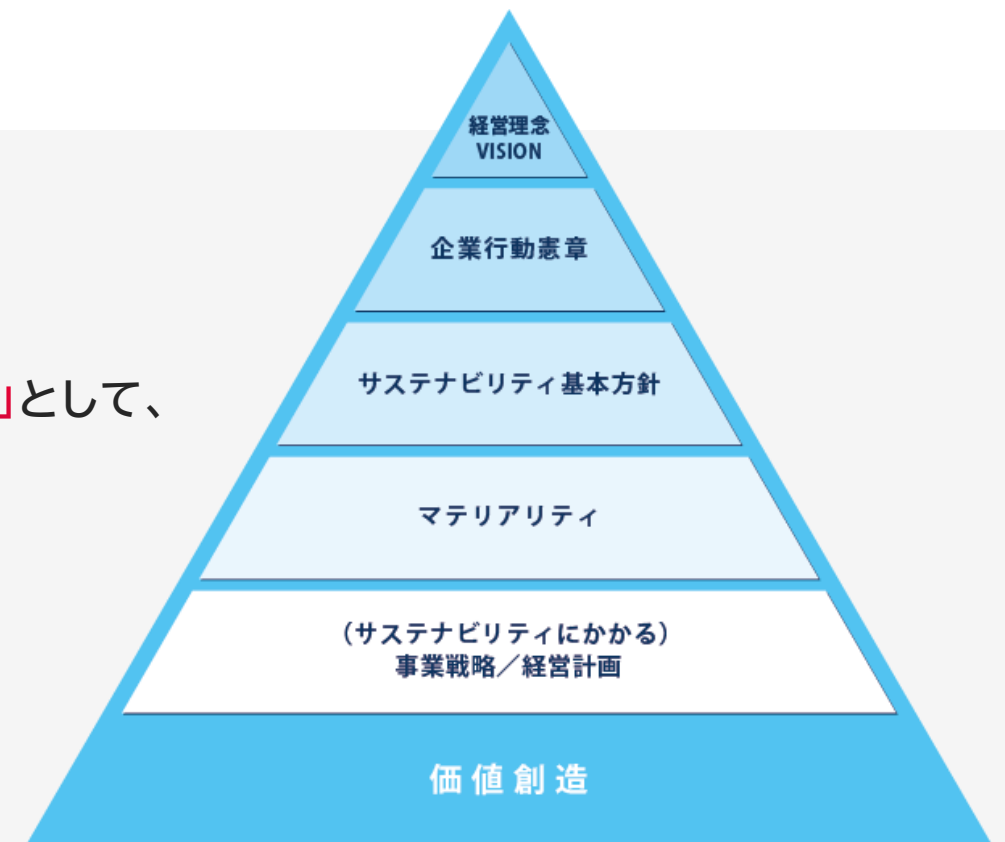
## サステナ活動の早期融合と深化

- ステークホルダーの要請や期待に応え、企業規模に見合った有意義なサステナビリティ活動を実践
- 両社のサステナビリティ活動の基盤と特長を活かした相互補完による活動の早期融合と磨き上げ

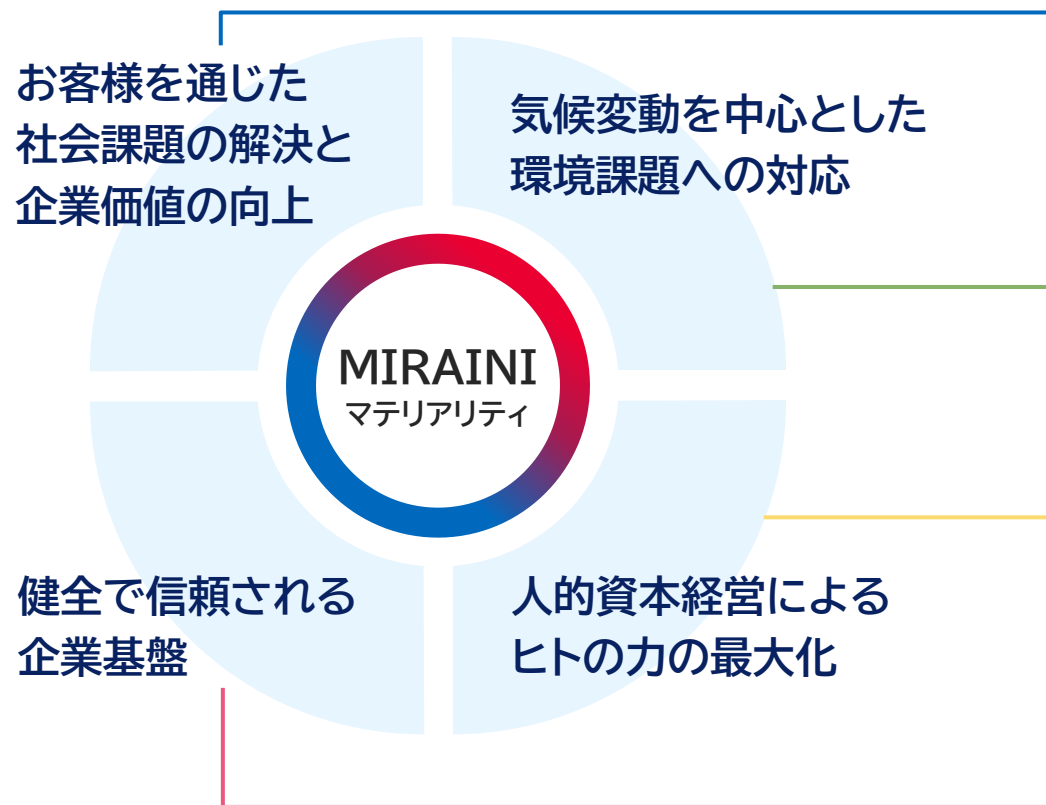
## サステナビリティで目指す姿

### サステナビリティ基本方針

「**新たな価値づくりに挑戦するグローバルソリューションパートナー**」として、  
本業を通じたサステナビリティ課題の解決に向けて、  
弛まぬ努力と実践を重ね、  
「**社会のサステナビリティ**」と  
「**企業のサステナビリティ**」の両立を目指した  
持続的な成長と中長期的な企業価値向上に取り組む



各マテリアリティの重要テーマ



- 社会課題解決型ビジネス実践
- 事業シナジー×イノベーション(収益向上)
- サステナブル製品/ソリューションの拡販



- カーボンマネジメント活動強化
- 環境イニシアチブへのコミットメント
- 事業活動を通じた環境負荷の低減



- 経営戦略と連動した人的資本経営の推進による多様な人材育成
- 活気溢れる風土づくり



- コーポレートガバナンスの推進と経営基盤強化
- サプライチェーンエンゲージメントの強化
- ステークホルダーエンゲージメントと情報開示の充実





**ROE**  
( 資本効率向上 )

10%以上

- 事業ポートフォリオマネジメント強化**
  - 営業利益率の改善(向上)、成長市場への積極投資
  - 持続的な売上成長と高収益化を両立する「MIRAINIモデル」の確立
- 資本効率化(BS経営強化)**
  - 適切な在庫管理、非事業資産の圧縮
- 財務レバレッジの最適化**
  - 適切な負債活用による運転資金の適正化
  - 資金調達コストの低減

×

**PER**  
( 成長戦略・経営  
リスクマネジメント )

10倍以上

- 事業成長に向けた施策実行**
  - 事業シナジーの早期実現
  - 成長領域に対する適切な事業拡大施策
  - 成長を牽引する人的資本投資、システム投資
- サステナビリティ強化**
  - 価値創造ストーリーの明示、非財務価値の向上、ガバナンス向上
- 株主/投資家対話の強化**

# 佐鳥電機 2026年5月期第3四半期実績 通期予想 業績ハイライト

(単位：億円)	2025年5月期 第3四半期	2026年5月期 第3四半期	前年 同期比	2026年5月期通期見通し		
	実績	実績		2025年5月期 通期実績	通期業績予想 (2026/1/14)	前年度比
売上高	1,149	1,213	+6%	1,562	1,600	+2%
営業利益	27.9	28.2	+1%	39	36	▲10%
経常利益	20.8	28.4	+36%	30	35	+15%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14.0	19.4	+38%	25	26	+3%
月平均為替レート (US\$/¥)	152.7円	150.5円		151.3円	147.5円	

- デジタルカメラや事務機器向けメモリ製品の所要増加やインド市場向けビジネスが好調
- 円安の影響による為替差益計上
- 年間配当金は90円

## 配当の状況（一株当たり）

	中間	臨時	期末	年間
実績	44円	46円	—	90円

# 佐鳥電機 2026年5月期連結業績予想

(単位:億円) 上段:売上高 下段:セグメント利益	2026年5月期			2025年5月期	
	予想	利益率	前年度比	実績	利益率
産業インフラ	300 14.7	4.9%	+4% +9%	289 13.5	4.7%
エンタープライズ	470 14.5	3.1%	+3% +20%	456 12.0	2.6%
モビリティ	440 20.8	4.7%	+6% +12%	※2 415 18.5	4.5%
グローバル	450 5.2	1.2%	▲5% ▲20%	※2 475 6.4	1.4%
全社及び消去	※1 ▲60 ▲19.2	-	-	▲73 ▲10.6	-
合計	1,600 36.0	2.3%	+2% ▲10%	1,562 39.9	2.6%

※1 セグメント間取引の消去が含まれます。 ※2 セグメント区分の変更により組み替えております。

# 2026年3月期業績



(単位:百万円)

	2025年3月期		2026年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	増減要因	
売上高	258,742	100%	271,918	100%	+13,175	+5.1%	・デバイス事業+113億円 ・ソリューション事業+18億円
売上総利益	21,367	8.3%	21,820	8.0%	+452	+2.1%	・増収及び利益改善効果+22億円 ・為替影響▲9.6億円 ・在庫評価損▲7.8億円
販管費	14,255	5.5%	15,550	5.7%	+1,295	+9.1%	・人件費+7.8億円 ・経営統合関連費用+5.4億円
営業利益	7,112	2.7%	6,269	2.3%	▲843	▲11.9%	
経常利益	6,210	2.4%	5,647	2.1%	▲562	▲9.1%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,699	1.4%	1,514	0.6%	▲2,185	▲59.1%	・企業取得に伴い発生したのれんの減損損失21億円計上
1株当たり当期純利益 (円)	371.30	—	151.94	—	▲219.36	—	
1株当たり年間配当金 (円)	185	配当性向 49.8%	185	配当性向 121.8%	0	—	

為替レート(ドル)	151.58円	150.77円	0.81円円高
-----------	---------	---------	---------

	2025年3月期		2026年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
売上高	226,319	100%	<b>237,632</b>	<b>100%</b>	11,312	+5.0%
セグメント利益	5,688	2.5%	<b>4,494</b>	<b>1.9%</b>	▲1,193	▲21.0%

得意先別売上		2025年3月期	2026年3月期	前期比		
		金額	金額	構成比	前期比	
	デンソー	102,710	45.4%	<b>104,955</b>	<b>44.2%</b>	+2,245 +2.2%
	東海理化	5,091	2.2%	<b>5,204</b>	<b>2.2%</b>	+113 +2.2%
	その他	51,308	22.7%	<b>55,171</b>	<b>23.2%</b>	+3,862 +7.5%
海外拠点得意先 *1	67,210	29.7%	<b>72,302</b>	<b>30.4%</b>	+5,092 +7.6%	

エリア別売上		2025年3月期	2026年3月期	前期比		
		金額	金額	構成比	前期比	
	日本	159,108	70.3%	<b>165,329</b>	<b>69.6%</b>	+6,220 +3.9%
	アジア *2	28,366	12.5%	<b>31,081</b>	<b>13.1%</b>	+2,714 +9.6%
	アメリカ	32,560	14.4%	<b>33,620</b>	<b>14.1%</b>	+1,060 +3.3%
	欧州	6,283	2.8%	<b>7,600</b>	<b>3.2%</b>	+1,316 +21.0%
海外計	67,210	29.7%	<b>72,302</b>	<b>30.4%</b>	+5,092 +7.6%	

\*1 海外拠点得意先には、デンソーを含む主要顧客の海外事業所向けの売が含まれております。地域名は萩原電気グループ拠点の所在地(グループ内取引は除く)です。

\*2 萩原電気グループのシンガポール、中国、アメリカ拠点における決算期は、2026年3月期より、従来の12月末から3月末へと変更いたしました。なお、2025年3月期における当該拠点の業績数値は2024年1月～2024年9月の期間のものとなっております。

# ソリューション事業 業績概要

(単位:百万円)

		2025年3月期		2026年3月期		
		金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高		32,423	100%	34,286	100%	+1,862 +5.7%
セグメント利益		1,423	4.4%	1,774	5.2%	+350 +24.6%
事業別売上*	ITソリューション・データプラットフォーム	10,346	31.9%	10,817	31.5%	+470 +4.6%
	組込ソリューション	13,721	42.3%	13,688	39.9%	▲33 ▲0.2%
	FAソリューション	8,355	25.8%	9,780	28.5%	+1,425 +17.1%
顧客業種別売上	自動車	12,782	39.4%	13,567	39.6%	+785 +6.1%
	FA・産業機器	13,864	42.8%	14,309	41.7%	+445 +3.2%
	その他	5,776	17.8%	6,408	18.7%	632 +10.9%

\*1 ITソリューション :IT機器販売、アプリ開発、IoTシステム開発、セキュリティ対策等  
 データプラットフォーム :IoTプラットフォーム及びサービス販売等  
 組込ソリューション :産業用コンピュータ開発・製造、機械装置向け組込産業用コンピュータ販売等  
 FAソリューション :計測機器・検査装置・FA機器販売、各種自動化・省力化製造装置の開発・製造・販売等

このプレゼンテーションで述べられている業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、さまざまなリスクや不確定要素が含まれております。従って実際の業績は予測と大きく異なることがあります。

これらのリスクや不確定要素は以下のようなものがあります。

主要市場の経済情勢や消費動向  
為替相場の大幅な変動  
資本市場における相場の大幅な変動  
主要製品市場における需給関係の急激な変動  
技術革新、顧客ニーズの変化 等  
自然災害および感染症の蔓延